

## 委員會の修正豫算

八百六十六圓減額

警備費に九四九圓減の大斧鍼

九一の地租附加は七八

平市に於ける今年度追加豫算  
その他の決定市會は今十七日  
午後二時開會されたが昨十六  
日で終つた委員會の同豫算調

査結果は既報せる原案の總額  
六十一萬五千七百四十一圓を  
六十一萬四千八百七十五圓に  
減額し八百六十六圓減少を歲  
入に於て特地附加稅から七十  
(本稅一圓に九十一を七八  
に引下げ)減じて特別戶數割  
に於て八百二十三圓を増額し  
租附加より一千六百十九圓を  
松焚きとダヤンガラ念佛で知  
られるるる來る舊十四、五、  
六の三日間に於ける平市益蘭  
當に準備して舊十五日(陽曆  
二十日)の夜を踊り明かす人  
々や觀客の爲の二十一日(酉  
十六日)の午前早々から左記  
三本の臨時列車を巡轉するに  
決したが尙ほ舊二日間は各列  
車の増結をも準備してゐると  
平驛發久の演(午前〇時七分  
分)同高秋行午前〇時七分  
及び晝夜を以て終日宿泊明十

寄附金より五百圓減、補助費  
に於て四百圓を増額したる百  
圓減の外警備費に大斧鍼を入  
れて原案の六千十一圓より九  
百四十九圓を引落す五千六十  
二圓に減額し賞與、傭人、鐘  
樓費、出場手當を悉く動かし  
て從來の手當五十錢を三十錢  
に引下げたるものは舊平窪に  
於ける純農村消防に於ける其  
れを例にひける嫌ひのある都  
市消防に認識不足な仕打ちは  
相當議論があることであらう

## 舊十五日夜の雜沓に 平驛で臨時列車運轉

十六日午前零時二方面へ

同小川鄉行午前〇時十五分

## 石城見學

本場練習生の

本橋技師引率で

郡山市本縣農試本場練習生九

名は昨十六日本橋技師の引率

秋田、盛岡、山形、酒田、平

日間仙台遞信講習所、青森、

三丁目佐々木の方石井

## 皇軍に慰問袋

八日は石城郡泉村玉露の篤農志加澤之助氏方溫床經營から贈る千結びの胸巻三百枚を縫合後七時四十分平驛發送

東線で郡山着同十時五十六分解散の豫定であると

第二校生三百で

## 千 結 び

今日三百枚作製

平市愛國婦人會、國防婦人會、平婦人會、同女子青年團

市内第二小學生三百名と共に

青果市場で貢金

平市軍事義會

と國防資金へ

平市大町平育物市場では今十

七日代表者鈴木與一氏の名で

金十七圓五十錢を市の軍事義會に金十五圓を國防資金の内へ貢金した

## 高小卒業者に福音

普通科百名、郵便科七〇名

仙台遞信局管内に於て

普通科百名、講習期間は八ヶ月

事務員を含め普通科百名

五年締約を以て希望申込みを

月一日の學科講習開始に先き

立ち本八月十五日より來九月

一日の學科講習期間は十

六科とし講習期間は八ヶ月

六の三日間に於ける其

金の賃はひは例年數萬の人出

六の三日間に於ける其

金の賃はひは例年數萬の人出

十六の三日間に於ける其

金の賃はひは例年數萬の人出

十六の三日間に於ける其

金の賃はひは例年數萬の人出

## 特別議會を通過せる

北支事變 特別稅法 施行に就て

(4) 平稅務署長談

一人は正當防衛

一人は引續取調

一人は正當防衛

一人は正當防衛

## 木炭の消費は 夏場でも増加

燃料の寵兒のみでなくなつた

七月の濱通一萬七千俵増

燃料の寵兒のみでなくなつた

木炭の消費は夏場でも増加

## 玄關先の短靴

吉氏次女幸子さんは同市蠅取

デーの抽籠に於て一等に當選

競技の際双方の得點が

追ひつ迫はれつするも

の又は物の相上下するも

有様を指してシーソー

ゲームと呼んでゐる、

賞品を現金に換

えて寄附する

平市字田町伊坂醫院長伊坂久

福島市から商用の歸途オート

バイを疾駕して二本松町字東

池の入地先國道に差かゝつた

万七千百八十俵を増加したこ

の郡別を上ぐれば

石城五五五三五俵(四九一

内は前年同期

で昨年七月の検査高は十三萬

二千八百四十俵であつた尙ほ

前六月の十四萬六千四百十俵

に較べても四千六十二俵の

增加であつて例年夏季に臨ん

で減産した木炭が斯の如き増

産を見るは從來の燃料のみの

需要から化學藥品原料に用え

られる爲め益々この動途を

たどるものと云はれて居り去

る六月までの累計高七十六万

七百九十俵にありても昨年の

需要から化學藥品原料に用え

られる爲め益々この動途を

通行人を傷けた

オートバイ取調

バス運轉の

助手召喚

木戸驛踏切事件の

常磐線木戸驛構内南方踏切に

事件は列車側の機關士阿部榮

五郎(四)氏が起訴されたがバ

スを運転したのは擔當の志賀

孝雄(三)惨死者ではなく助手

の澤田男(三)であつたことが判

り澤田は數日前から平檢事

局に召喚取調を受けてゐる

福島市から商用の歸途オート

バイを疾駕して二本松町字東

池の入地先國道に差かゝつた

万七千百八十俵を増加したこ

の郡別を上ぐれば

石城五五五三五俵(四九一

内は前年同期

で昨年七月の検査高は十三萬

二千八百四十俵であつた尙ほ

前六月の十四萬六千四百十俵

に較べても四千六十二俵の

增加であつて例年夏季に臨ん

で減産した木炭が斯の如き増

産を見るは從來の燃料のみの

需要から化學藥品原料に用え

られる爲め益々この動途を

たどるものと云はれて居り去

る六月までの累計高七十六万

七百九十俵にありても昨年の

需要から化學藥品原料に用え

られる爲め益々この動途を

たどるものと云はれて居り去

る六月までの累計高七十六万

七百九十俵にありても昨年の

需要から化學藥品原料に用え

られる爲め益々この動途を

たどるものと云はれて居り去

# 夏果物の王座

## 西瓜の評

(1) 東都の消費量と  
人気を説くもの

夏の果物界に於て王座を誇る西瓜は梅雨明けの暑氣と共に人気の上昇をつけて各地からの中中央出荷を漸増する。東京に於ける夏季の消費高は大体一千二百萬個と云はれてゐるが昨年神田市場のみに於て取扱はれたものは二百四十萬個この價格四十萬圓餘に上り前記總消費量の五分の一に達してゐる、中央市場に出回るもので一番多いのは高知産で次が熊本産が肉迫し時にその量は極めて相近い上下を競つてゐるが、

毎年出荷のトップを切るものは高知もので早期の六月は殆んど東都市場を獨占してゐる、その間静岡ものが僅かばかり出廻るが到底高知の敵ではない、それから七月に這入ると熊本ものが入荷して高知に肉迫し相次へで愛媛、紀州、奈良等の関西ものが巾を利かして來るのであるが、中旬以降になると千葉、茨城などの近在ものが突撃を開始し漸次遠くからの旅物を駆逐しはじめ八月になると最早や高知、熊本ものは姿を消して関西ものとしては僅かに愛媛、奈良ものなどが名残りをとどまるに過ぎず近在ものゝ活躍時代となつて千葉、東京、神奈川、埼玉、茨城などの近在も市場の制覇を目指して混戦、闘闘もの波の白熱戦が展開される。

## 暑中御同

### 三井 榮

東京市葛飾區  
本田町立石

縣會議員 蓮沼龍輔

石城郡赤井村  
(小川郷驛)

田久彌七

磐城平市料理屋組合  
最新食津桐材  
流行自製専門 小松履物店  
平市警察署前通  
(電話一八番)

坂本紙店

平市  
四丁目  
馬ルトモ書店  
勿來町 駅道公認  
常磐線綴駆前  
日野運送店  
石城郡  
平市  
二丁目  
郵便局長赤津  
マルトモ運動具店  
電話一二三四番  
電話一二四番

藤沼醫院

平市紺屋町 電五〇七

正確なる  
寒暖計  
計量器指定販賣  
山野邊藥局

牛も豚も優良品の自慢

三屋

平市田町

内科、小兒科  
大森醫院  
入院  
醫學士大森勇  
平市南町  
電二五八番

町田平二五三電

血液検査毎日  
イツデモ  
入院テキマス  
醫學博士北川芳夫  
技師小林良次  
平市新川町二七(電四六四)

外科一般 内臓外科  
レントゲン科 泌尿器科  
北川外科

サラン

食事。  
喫茶。  
酒場を兼ねた。

レストラン

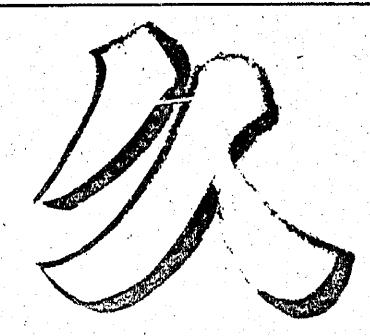
○○○大見切  
○○○大見切

奉仕品 婦人洋傘  
子供帽子  
清凉着

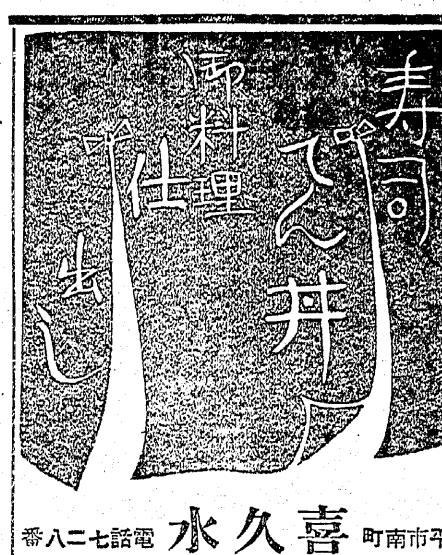
是非御来店を  
御待ちして居ります

ニヅルヤ 平二  
電一四〇

產科、婦人科専門  
根本醫院  
根 本 醫 院  
(平市南町)  
病室 入院隨時  
建築手術室完備  
根本庄次  
貞雄郎



横山商店  
債券部  
町間仲市平  
電話六六九  
○一六〇九京東普振  
番一七三話電



喜久水 町南市平  
番八二七話電

「看護見習募集」  
明雲堂眼科醫院  
(平田町三丁目裏川岸通)  
入院應需(自炊の便あり)  
電話六六九  
平市五丁目角  
計量器指定販賣